

# GSJ

地球をよく知り、地球と共生する

# 地質ニュース



# 3月号

- 
- 61 **地球化学プロセスと地震発生周期の関係性を考える**  
最首花恵・大坪 誠
- 
- 64 **経済産業省こどもデー出展報告**  
**「もしも身近なところで地しんがおきたら」**  
落 唯史・兼子尚知・川邊禎久・斎藤 眞・野々垣 進・宮地良典
- 
- 66 **湖底堆積物から探る富士山の噴火史**  
**一本栖湖に残されていた未知の噴火の発見**  
藤原 治・Stephen Obrochta・横山祐典・宮入陽介・常松佳恵
- 
- 70 **沖縄の「碧い海」の下の地質調査** 荒井晃作
- 
- 75 **女子大学院生・ポスドクのための産総研所内紹介と在職  
女性研究者との懇談会開催報告**  
加野友紀・針金由美子・産総研ダイバーシティ推進室
- 
- 78 **「GSJ 筑波移転」第 6 回 追想 - 筑波移転と研究体制**  
坂巻幸雄
- 
- 81 **新刊紹介 「地球 46 億年 気候大変動」**



国立研究開発法人 産業技術総合研究所

# 地質調査総合センター 採用案内

Geological Survey of Japan

## GSJの役割

陸域・海域の地質調査、資源評価、地図環境評価、活断層・火山調査などの国内外における調査研究業務

〈地質情報研究部門〉

地質情報の整備  
(地質図の作成等) を  
行っています。



地質図作成のための露頭調査

〈地図資源環境研究部門〉

地図の資源と環境に関する  
評価と技術の開発を  
行っています。



二酸化炭素の地中貯留に係る野外計測

〈活断層・火山研究部門〉

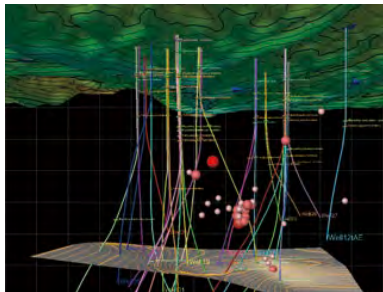
将来の地質災害の  
活動予測や評価技術の  
開発を行っています。



地震発生後の断層調査

〈再生可能エネルギー研究センター  
地球熱ブロック(地熱チーム、地中熱チーム)〉

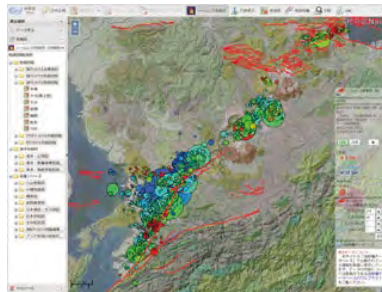
地熱・地中熱の  
適正な利用のための  
研究開発を行っています。



微小地震情報統合可視化システム

〈地質情報基盤センター〉

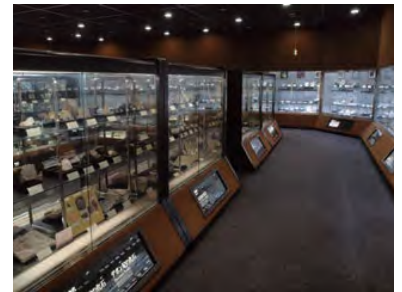
地質情報の  
管理と利用促進を  
行っています。



熊本地震の震源分布・活断層・地質等を  
地質図NAVIでオンタイム統合表示

〈地質情報基盤センター:地質標本館〉

貴重な地質標本の  
管理・展示を  
行っています。



地質標本館第四展示室

## GSJの職種 (多様な働き方)

- 研究職員 (修士卒・博士卒)
- 特別研究員 (ポスドク)
- 技術専門員
- リサーチアシスタント (博士前期・後期課程在籍中の大学院生)
- テクニカルスタッフ (契約職員)
- 研究支援スタッフ (総合職)

地質調査  
総合センターの  
仕事ってなんだろう?

最新の採用情報はコチラ →  
[https://www.aist.go.jp/aist\\_j/humanres/index.html](https://www.aist.go.jp/aist_j/humanres/index.html)



お問い合わせ



地質調査総合センター研究戦略部研究企画室 (国内連携グループ)

〒305-8567 茨城県つくば市東1-1-1 (中央第7)

TEL : 029-861-3540 FAX : 029-856-4989 E-mail : gweb@gsj.jp

※電話でのお問い合わせは、土日祝祭日、年末年始を除く9:30 ~ 12:00, 13:00 ~ 16:30にお願いいたします。



# 明治からつなぐ 地質の知恵

地質情報展  
2019  
北海道

2019年

3月29日(金)~31日(日)



国立研究開発法人 産業技術総合研究所 一般社団法人  
主催：地質調査総合センター・日本地質学会

**時間** 10:00~17:00 ※31日は16:00終了

**会場** かでの2・7  
(北海道立道民活動センター)

**体験コーナー** 化石のレプリカ作成,  
石狩平野のでき方 など

**特別展示** 巨大地質図で見る北海道,  
胆振東部地震から学ぶ

入場  
無料

**同時開催** 【日本地質学会 主催】

市民講演会  
「動く大地のしくみを知り、地震・津波災害に備える」

日時：3月30日(土) 13:00~15:00  
場所：かでの2・7(北海道立道民活動センター)

- 山脈はどうしてできる?—地質が示すヒマラヤ・日高山脈の成り立ち—  
在田一則(北海道大学大学院理学研究院元教授, NPO法人北海道総合地質学研究センターシニア研究員)
- 深海底の断層を調べる—東北地方太平洋沖地震の断層すべりメカニズム—  
亀田 純(北海道大学大学院理学研究院地球惑星科学部門准教授)
- 地震はなぜ起こる?—北海道の地震とその災害—  
高橋浩晃(北海道大学大学院理学研究院附属地震火山研究観測センター教授)

共催：北海道立総合研究機構 地質研究所  
後援：経済産業省北海道経済産業局, 北海道大学, 北海道教育委員会, 札幌市, 札幌市教育委員会, NHK札幌放送局, HBC北海道放送, STV札幌テレビ放送, HTB北海道テレビ, UHB北海道文化放送, TVhテレビ北海道, STVラジオ, 北海道新聞社, 全国地質調査業協会連合会, 北海道地質調査業協会, 日本ジオパークネットワーク

【お問い合わせ先】  
国立研究開発法人産業技術総合研究所 地質調査総合センター  
TEL : 029-861-3540  
Email : jophoten2018-ML@aist.go.jp  
URL : <https://www.gsj.jp/event/jophoten/>



#### GSJ 地質ニュース編集委員会

委員長 宮地良典  
副委員長 中島礼  
委員 井川怜欧  
児玉信介  
竹田幹郎  
落唯史  
小松原純子  
伏島祐一郎  
森尻理恵

事務局

国立研究開発法人 産業技術総合研究所  
地質調査総合センター  
地質情報基盤センター 出版室  
E-mail : g-news-ml@aist.go.jp

---

GSJ 地質ニュース 第8巻 第3号  
平成31年3月15日 発行

国立研究開発法人 産業技術総合研究所  
地質調査総合センター

〒305-8567 茨城県つくば市東1-1-1 中央第7

印刷所

#### GSJ Chishitsu News Editorial Board

Chief Editor : Yoshinori Miyachi  
Deputy Chief Editor : Rei Nakashima  
Editors : Reo Ikawa  
Shinsuke Kodama  
Mikio Takeda  
Tadafumi Ochi  
Junko Komatsubara  
Yuichiro Fusejima  
Rie Morijiri

Secretariat Office

National Institute of Advanced Industrial Science and Technology  
Geological Survey of Japan  
Geoinformation Service Center Publication Office  
E-mail : g-news-ml@aist.go.jp

---

GSJ Chishitsu News Vol. 8 No. 3  
March 15, 2019

**Geological Survey of Japan, AIST**

AIST Tsukuba Central 7, 1-1-1, Higashi, Tsukuba,  
Ibaraki 305-8567, Japan

## 臨海活火山である恵山と津波災害の危険性

[cover photo](#)



おしま  
渡島半島南東端に位置する恵山<sup>えさん</sup>火山(標高 618 m)は、新第三紀の外輪山溶岩と 8,000 年前に生じた溶岩ドームからなる二重式火山である。完新世においても度々火砕流や火砕サージが発生した活火山であり、直近の大噴火は西暦 1400 年頃にあったらしい。現在最も活動的な噴気が見られる地獄谷は、2,500 年前の大規模噴火により山体が崩壊することにより生じた爆裂火口である。近い将来、このような山体崩壊が発生し、津軽海峡側に土砂が流入した場合、函館市や対岸の下北半島沿岸に向かう津波の発生が危惧されている。赤茶けた火山の地肌が露出しており、荒々しい山谷や噴気の様子から、古くから恐山と並ぶ霊場として知られている。函館市日ノ浜海岸から北東方向に向かって撮影した。

(写真・文：産総研地質調査総合センター地質情報研究部門 七山 太)

Risk of tsunami disaster by the Esan volcano facing to the Tsugaru Strait. Photo and Caption by Futoshi NANAYAMA